

玉名市過疎地域持続的発展計画（案）に関する意見募集の結果及び玉名市の考え方について

令和4年7月22日
玉名市企画経営部企画経営課

「玉名市過疎地域持続的発展計画（案）」について、市民等の皆さまからのご意見を募集したところ、次のとおりご意見をいただきました。寄せられたご意見の内容とこれらに対する市の考え方を示しています。

- 1 意見募集期間 令和4年6月13日から6月28日まで
- 2 意見提出件数 13件（3人）

番号	ご意見・ご提案の内容	ご意見に対する市の考え方	修正内容
1	<p>P11 人材育成の促進</p> <p>「地域活動の担い手の育成として区長を対象とした講演会等、支館長らを対象とした研修等を実施している」とありますが、区長や支館長を対象とした人材育成だけの現状ですか。若い人・他団体へはやっていないのですか？</p> <p>「・・・小さな社会をたくさん創る」ことを目指します」とありますが、「それぞれグループ、集落の班や区」とは違う、別の「小さな組織体」のことですか。</p> <p>P12 移住・定住の促進</p> <p>「空き家を利活用した移住・定住を促進する。地域おこし協力隊や集落支援員などを活用して・・・地域の担い手の確保を図る」とありますが、本計画の目標の要と考えますが、施策の具体性がありません。</p>	<p>現在、市民活動団体の交流会を年に1回開催し、講演会やワークショップを実施しております。また若者に向けては、市の人材育成基金を活用した補助事業である玉名未来づくり研究所という、高校生・大学生を中心としたまちづくり事業を展開しており、将来の玉名の担い手となる人材育成を行っております。</p> <p>「小さな社会」とは、社会を構成する様々な小グループを指します。よって「それぞれのグループ、集落の班や区」や趣味の集まり、NPO、地域組織なども含まれます。</p> <p>ご指摘の(4)事業内容につきましては、国からの過疎地域持続的発展市町村計画を作成する場合の作成例において、この部分の前にある「その対策」に基づく事業計画の概要であり、計画期間内に実施すべき事業名、事業内容等について記載することとされています。パブリックコメントにおいては、実施すべき事業内容の概要を記載していましたが、作成例や県及び他市の計画を踏まえ、定住促</p>	<p>修正なし</p> <p>修正あり</p>

	<p>P15 観光 中山間地と田園平野地には「玉名一の観光資源」があり、素晴らしいところです。これも本計画（天水地域）の持続的発展の要です。</p> <p>P21 交通施設の整備 「有明海沿岸道路（Ⅱ期）が、…本地域を通過する予定となっています」とありますが、未だ「計画」さえありません。計画に載せてもらう運動を、現在やっています。また、広域農道や農免道路などの現状認識がありません。</p>	<p>進事業、地域づくり事業などの名称に置き換えることとしています。</p> <p>天水地域は、豊かな自然と地域の歴史を感じることができる地域資源が数多く点在し、本市の観光素材の中において最重要地域と捉えております。本計画では、観光施設の老朽化に伴う改修を検討するとともに、便利に観光地を巡れる仕組みを整備することにより、観光客の満足度をあげる事業に取り組んでまいります。</p> <p>有明海沿岸道路については、令和3年に「熊本県新広域道路交通計画」及び「九州地方新広域道路交通計画」において、熊本市から佐賀県鹿島市に至る一連の区間を高規格道路として位置付けられました。これからも、有明海沿岸道路全線の早期整備に向けて、関係機関と連携を図りながら取り組んでまいります。</p> <p>また、天水地区の広域農道については、現在は一級市道「玉名天水線」及び一級市道「オレンジロード」として市道認定しております。</p>	<p>修正なし</p> <p>修正なし</p>
--	--	--	-------------------------

	<p>P23 公共交通 P43</p> <p>「スマートモビリティ環境の実現に向け検討します」とありますが、中山間の過疎地域での実現・運用とは、具体的にどのようなことでしょうか。</p> <p>P31 高齢者等の保健</p> <p>「天水地域における高齢化率は 39.9%、玉名市全体 35.0%」P2 では 39.1%、P2 では 34.2%とありますが、記載の誤りですか。</p>	<p>今後も他の市道と同様に維持管理に取り組んでまいります。</p> <p>なお、農免道路については、農林水産省管轄の事業で、熊本県農林部農地整備課が一部区間の整備を行われています。</p> <p>電気自動車の導入を検討し、CO2 を削減することでカーボンニュートラルに向けた取組を行います。また、業務時間中は天水支所職員の公用車として使用し、夜間・休日は、天水地域の住民の方や観光客など市民とのカーシェアリングを行い、スマートモビリティ環境の実現に向け検討します。</p> <p>31 ページでは、「本市の令和 4（2022）年 3 月末における高齢化率は 35.0%で、天水地域における高齢化率は 39.9%となっています。」</p> <p>2 ページでは、「令和 2（2020）年の～中略～高齢化率も 39.1%と市全体（34.2%）に比べて高い状況にあります。」</p> <p>それぞれ令和 4 年 3 月末と令和 2 年における高齢化率を記載しています。</p>	<p>修正なし</p> <p>修正なし</p>
--	--	--	-------------------------

	<p>P40 集落の整備</p> <p>「地域運営組織（仮称）」を設置し、持続可能な集落の形成を目指す」とあります。地域には、班や区、また区長会、公民館支館などがありますが、それらの「運営を支援する」とはどのような運営組織づくりをお考えでしょうか。</p> <p>共通 現状と問題点</p> <p>一部の分野での「現状と問題点」には、一般論的な記載があります。天水地域各地区の現状は、どのように調査されましたか。</p>	<p>地域運営組織とは、地域の暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織です。</p> <p>そのため地域ごとの様々な課題に柔軟に対応していくためには、画一的な支援では困難であると考え、各地域の課題に寄り添った支援を検討しております。</p> <p>本計画では、天水地域を含めて市全体で取り組む項目は、令和4年3月に策定した本市の最上位計画である「第2次玉名市総合計画後期計画」との整合を図っています。また、天水地域の現状と問題点は、①担当課ヒアリング②住民アンケート③住民説明会④天水地区出身職員及び天水地区在住職員で構成するプロジェクトチーム⑤各データでの分析、以上のプロセスを踏まえて計画（案）を策定しています。</p>	<p>修正なし</p> <p>修正なし</p>
--	--	---	-------------------------

<p>「玉名市過疎地域持続的発展計画（案）」を取りまとめられて、「第2次総合計画」及び「第2期玉名市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と一体的に、人口減少対策、地方創生に取り組んでおられることに共感し、その推進と実現に大きく期待しています。</p> <p>過疎地域は「旧天水町」のことだけでなく、人口減少が進んでいる私どもが住んでいる地域のことでもあります。玉名市人口ビジョンによると、その減少は深刻であり、寂しいというより怖い感じですが。今や「活力のあるまち」とは「定住人口、生産・雇用人口、交流人口」を増やすこととなっています。「働く場、暮らしの場、育てる場、交流の場があり、そして地域内のお金を地域内で回す」ことが重要です。これらを輝かせることが人口減少対策のカギであります。</p> <p>本計画により地域が持続的発展するためには、地域住民、民間団体への理解と浸透が大事です。</p> <p>地域にとっては、これまでと同じように真剣で、エンドレスの「地域づくり運動」です。</p> <p>本計画の分野は多く、また、それぞれに盛り沢山の「・・・を組み合わせ、推進する、展開する、支援する、図る」など基本的なものがあります。分野ごとにまとめておられますが、具体的にどのように進めるのか市民にはわかりにくいのではないのでしょうか。実施に当たっては、地域住民、民間団体との「推進体制（戦術）」や「行動指針」が必要と考えます。</p> <p>また、地域では暮らし、教育、福祉、コミュニティや歴史文化の継承には、「協働」して「まもる」、「伝える」、「活かす」、「育てる」の行動が必要ですが、「まもる、維持する」ことが精一杯であり、「伝える」、</p>	<p>人口減少はご意見にもあるとおり天水地域に限らず、本市の課題でもあります。天水地域の持続的発展のため、本計画に基づき事業を展開していきますが、これまでの既存事業に加えて、新たな取組も必要となります。まずは、天水地域をモデル地区として事業を実施し、ひいてはその事業が市内全域に波及することで、市全体の活性化につなげていきたいと考えております。</p> <p>また、事業の実施に当たっては、天水地域の住民の方をはじめ、県、関係機関及び関係団体などと連携し、地域と一体となった過疎対策に取り組んでまいります。</p> <p>なお、今回いただきましたご意見については、担当部署と情報を共有し、今後の過疎地域はもとより、本市の持続的発展に取り組んでまいります。</p>	<p>修正なし</p>
--	---	-------------

<p>「活かす」、「育てる」では苦慮されていると思います。</p> <p>策定されている総合計画など併せて、「計画段階」からの行政、民間団体、市民が共通認識を持ち「協働」して、「産・官・学・団・民」などが一体となった推進システムの構築も必要です。実際に協働するには、分野を横断的に連携して進めないと実現しません。</p> <p>地域の歴史文化が、地域のアイデンティティを創り、地域の人々をつなぎ、地域が存続していくための原動力となっています。以前、校区ごとに「まちづくり委員会」が設置され、行政マンと一緒に各地域が横断的に歴史文化、景観、地域づくり、人づくり運動が展開されました。これらをバージョンアップ、スキルアップした「地域まちづくり組織」と、計画されている「集落内でのサービスや活動、役割分担などについて話し合う地域運営組織（仮称）」を併せた推進体制づくりを検討してはいかがでしょうか。</p> <p>計画策定に当たっては、天水地域の地区別現状調査により、どのような議論があって、どのような悩みを吸い上げられたのですか。「・・・図ります」「・・・推進します」「・・・支援します」などを読みますと、行政からの一方的な施策、支援に感じます。実施に向かっては、ぜひ、県・市・町との広域連携、民間活動など「協働」して取り組んでいる状況など、その手法を具体例として紹介して、住民に分かりやすく伝わるようお願いします。</p> <p>地域には、行政区・資格・経済業界・観光振興・教育・福祉の団体、まちづくりの団体、歴史文化の団体などや個人の様々なグループ活動があります。</p>		
--	--	--

<p>地域づくりには、「人を活かすこと」、「出番をつくること」が一番大事なところ。ぜひ、この計画が旧天水町の過疎地域だけでなく、全市に広がり、人口減少対策の「推進・行動」の指針として、「産・官・学・団・民」などの「協働」が推進され、「地域持続的発展」につながることを期待いたします。</p> <p>地域にとっては、これまでと同じように真剣で、エンドレスの「これからの地域づくり運動」です。補助金を受けるためだけの一過性の「計画」とならないようにお願いします。</p>		
---	--	--

番号	ご意見・ご提案の内容	ご意見に対する市の考え方	修正内容
2	<p>拝啓、私は玉名市内に住む、69才の主婦です。</p> <p>日本全国、又玉名市内も過疎化が進み、私の部落も特に後期高齢が多く見られ、以前に車の免許を取得されていた人が年になり、運転するのが困難になり、免許を返納し、買い物や病院など交通の足を奪われ、又バス停まで思ったより遠く、近所の人に頭を下げお願いされるのをしばしば見かけるのを多く見られています。気軽にマイクロバスに乗れるように、家の近くや家の前など時間を決めていただき、小さな部落まで来てもらうなどの意見です。(タクシーなど使用すると高額になる)</p> <p>※昨年、部落に40件ほどしかないのですが、6名が次々と亡くなりました。葬儀場まで高齢者のため行くことが困難になり、タクシーや近所、友人などをお願いして葬儀場まで行かれるケースのこのごろです。</p> <p>後5年が経過すると、今現在運転されている方も、返納増加が見られ、ほとんどの方が葬儀場に行くことさえ困難が見られます。葬儀場から部落などに、マイクロバスの送迎をしていただくと、気軽に気をつかわず行けると思います。意見です。(国民年金の方など金額の問題などあり) 私はまだ、5年経過してもなんとか？高齢者1歩手前ですが、そんな人は少ないです。</p> <p>たとえば、選挙などある時、高齢になると足など体が疲れたり、困難となり、各玉名市内の小学校などに行かなければならなくなり、私の所は、約1Km近くあると思います。高齢になると、足などにむりがあるので、行きたいと思っても、一人暮らしの方などむりがあると思</p>	<p>現在、公共交通不便地域の解消策として、乗合タクシーの導入を進めております。乗合タクシーは、エリア内で300円、エリア外の特定の乗降場所までは400円で運行しています。乗合タクシーの詳細については市地域振興課でご説明させていただきますので、お問い合わせください。</p>	修正なし

	<p>います。プランです。</p> <p>部落の公民館など市役所から来ていただき、近くで投票してもらった方がいいのではないのでしょうか？</p>		
--	--	--	--

番号	ご意見・ご提案の内容	ご意見に対する市の考え方	修正内容
3	<p>天水地域ではスポーツ推進員が三支館と連携して体育祭はじめ区対抗のスポーツ大会を企画しています。普段スポーツをしない人にもその場を提供してくれます。</p> <p>区民の結束や地域の交流の場としても貴重な機会です。</p> <p>総合型地域スポーツクラブは勿論ですが、こういう地域全体が参加できるスポーツ活動も支えていただきたい。</p>	<p>地域における各種スポーツ大会は、ご意見のとおり地域交流における貴重な機会と捉えております。本計画では、総合型地域スポーツクラブの活性化はもとより、地域住民が参加可能な各種スポーツ大会を、スポーツ推進委員と三支館が連携して長期的に運営可能となるよう様々な点から検討していきたいと考えております。</p>	修正なし
	<p>地域文化の振興</p> <p>歴史的、伝統的文化もありますが、私たちの生活そのものが100年後には当時の文化とよばれるのではないのでしょうか。</p> <p>現在進行形の文化協会、ダンスや趣味の会、カラオケなどその活動や発表の場をバックアップしていくのも、地域を盛り上げ活性化していくために大事な文化の振興だと思います。</p>	<p>現在、玉名市文化協会に対し、活動の支援や会場使用料の補助を行っております。市文化協会には、伝統的なものから絵手紙や絵画、コーラス、ギター、ダンスまで幅広い分野の文化団体が活動しております。玉名市の文化振興に努め、趣味や芸術をたしなむことで心が豊かになり、地域の活性化につながっていると考えております。よって、天水地域においても、玉名市文化協会への加盟を検討いただき、共に活動することで現在の地域文化や趣味の会の維持及び発展につながるものと考えます。</p>	修正なし

	<p>農業関連の現状と問題点です</p> <p>ミカン栽培の現場では高齢化が顕著で薬剤散布が困難でやむなく離農される方も多いのが現状です。</p> <p>水田では機械化が進んでいますが天水のミカンの段々畑では今まで機械化が困難でした。スピードスプレーヤーに対応した基盤整備にも土地の傾斜で限界があります。</p> <p>今、注目されているのがドローンでの薬剤散布です。園地を測量し高低を制御した自動運転による薬剤散布技術も開発されています</p> <p>天水地域のミカン畑をドローン利用したスマート農業の先進地にできれば今まで作業効率の悪かった圃場の廃園防止や流動化につながると思います。将来天水から玉名市全域に広げていけたらと思います。</p> <p>実用化には技術が追いついていない部分もありますので令和8年からの2期目の計画に入れていただきたいと切に願います。</p>	<p>スマート農業の進展により、様々な作物における農作業の効率化、省力化が進んでいます。果樹栽培においても複数の機関において、ドローンを活用した防除体系等の研究・試験が行われているところです。</p> <p>当市におきましても、高齢化や担い手不足が進む果樹栽培において、ドローンを活用した農作業は、省力化、効率化が図られる有効な手段と考えます。</p> <p>今後、スマート農業技術の発展を見据えながら、優良な樹園地の維持及び農業経営の安定化を図るため、必要な対策を検討してまいります。</p>	<p>修正なし</p>
--	---	---	-------------